

例会報告：2015年9月15日（晴れ） 第1904回 通常例会

◆ ビジター

中村 健作様（小田原北RC）
千村 憲一様（足柄RC）

◆ 会員誕生日

大谷 宏さん（9月17日）
荻野 善明さん（9月27日）
西 寛さん（9月28日）



◆ 結婚記念日

久保田 知子さん（9月15日）
石崎 孝さん（9月28日）

◆ 奥様誕生日

菊地 晶子 さん（9月22日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
9月15日分	30,000	223,500	1,300,000

* ビジター

中村 健作様（小田原北RC）…久し振りでお世話になります。宜しくどうぞ。

千村 憲一様（足柄RC）…お世話になります。

* 会員誕生日

西 寛さん…誕生日を祝っていただきありがとうございます。先日会場監督、親睦で暑気払いをいたしました。楽しかったので、時々やろうと思っておりますので、みなさんご参加を！！

大谷 宏さん…①誕生日のお祝いありがとうございます。いつの間にかと言うべきか、ついにと言うべきか、とうとうと言うべきか、今週17日で満75歳となります。今後共よろしく願います。②先日13日に開催された小田原湯本カントリークラブの公式戦敬老杯Aクラスで優勝できました。今年は公式戦優勝2回目です。スコアはアウト40、イン44、計84回でした。ご一緒いただきました鈴木友徳さん、阿久津さんありがとうございました。

荻野 善明さん…①誕生日のお祝いありがとうございます。今後とも宜しく願います。②田村様、お忙しい中ありがとうございます。本日は宜しく願います

* 結婚記念日

久保田 知子さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。長男夫婦、長女夫婦も同じ日です。偶然ですが！

* 奥様誕生日

菊地 義雄さん…家内の誕生日を祝っていただきありがとうございます

* その他

会場監督・親睦活動委員会・執行部・辻村会長エレクト…会場監督、親睦活動委員会に執行部、辻村会長エレクトを迎え開催しました。その時の残金です。

小嶋 章司さん…小山町にある「遊女の滝」に誰が行った人いませんか？滝まで車で入れますか？入口から何分位かかりますか？教えて下さい。

斎藤 永さん…友情に感謝。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2015年9月-

▶30日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：元小田原北ロータリークラブ会員石田/東洋医学について」

-2015年10月-

▶1日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：会員10分間スピーチ（入会して楽しい思い出・苦い思い出・奉仕って）/勝俣会員・鈴木会員・梅田会員」

▶2日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」

▶2日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30
「卓話担当：会計」

▶5日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：新会員自己紹介/市川 聡会員・山田真吾会員」

▶6日(火) 箱根

▶7日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：未定」

▶8日(木) 小田原中 移動例会 12:15集合
「職業奉仕&親睦・家族委員会合同例会」

▶9日(金) 湯河原 移動例会（社会奉仕）
「下草刈り」

▶9日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30
「卓話担当：クラブ管理運営」

▶12日(月) 小田原 休会

▶13日(火) 箱根

▶14日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：かものはしプロジェクト 草薙直基様/2014年度活動報告」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp>
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：柳井 渉
編集長：小林 和彦
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1905回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2015年9月29日 12:30～13:30

司会：須藤 公司 副幹事

12:30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	担当：金山会員 卓話：有限会社川田製作所 副社長 川田 俊介 様 「3Dプリンターから始まる町工場の未来」
13:30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

■ 地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター: 1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。



【会長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹事】柳井 渉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

10月6日（火）通常例会 12:30
担当：菊地会員
卓話：パストガバナー 山地 裕昭 様
「内容未定」

10月13日（火）通常例会 12:30
「クラブ協議会」

10月20日（火）通常例会 12:30
「クラブ協議会/ガバナー公式訪問」

10月27日（火）通常例会 12:30
「クラブフォーラム（米山）」

例会報告：2015年9月15日（晴れ） 第1904回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年9月15日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「会場監督」について



木村 頼弘 会長

今日は会場監督の役割についてお話しします。新しい会員の方もおりますので再認識の為お話ししたいと思います。

会場監督は通称SAAと言われています。英語でSERGEANT-AT-ARMS（サージェント・アット・アームズ）の頭文字を取ったものです。起源は中世英国の皇帝を守るために選ばれた「武装した護衛官」のことで、それがそのまま

まロータリーに導入された歴史があります。例会場の設営と秩序の維持、その責任者として会長・幹事と並んでクラブ役員として重要なポストにあります。その役割はクラブの定款でも確立されております。つまり、例会場において最高の権限を持つクラブ役員という事です。その役割について大きく3つあります。

1) 例会において、秩序正しく品格を持って、能率的な会合の維持に努める事。（能率的な会合＝私語に対する警告、早退・遅刻の承認や拒否 卓話の時間の励行などです）

2) クラブ訪問者および来賓者に対して良い印象を与える事。

3) クラブの品格や威厳を落とす出来事を防止する事。（おもて事・服装・規則を乱す者への警告と退場命令）

以上のような重要な役割があります。例会をスムーズに行う上で大変責任が重い立場にある訳です。この例会をスムーズに行うという事は、強弱のバランスすなわち、厳しさと楽しさのバランスだと思えます。この両方があって初めて例会がスムーズに進行するのではないかと考えています。

今、「楽しい例会にしよう」と良く言われますが、実際に例会を明るく楽しく盛り上げることは、なかなか難しいことです。しかし、私が今日お話したかったのは例会を楽しむ上で、会場監督の方が最も適した立場であり、もっと活躍できる余地があると思っています。なかなか「楽しい演出をする」という事は日本人は苦手ですが、そこで、私が幾つか思いついた「楽しい例会」の例えを話したいと思います。

1) 1ヶ月に1度、抽選会を行う

これは例えば、私の所から、チョコレートを提供したり、また会員の方に何か商品を提供して頂いて月一度、抽選会をして皆さんに喜んでもらう。

2) 会員の方の趣味やコレクションを展示して、卓話で自慢話をしてもらう。

3) 新しい会員の方・随分昔に会長をされた方に「1日会長体験例会」と題して、1日だけ会長職をやって頂いて、新しい刺激と懐かしさを体験してもらう。

4) 例会の食事をたまには、豪華な「お寿司」「うな重」にする。

5) テーブルクラスを季節ごとに色鮮やかな物にする。

その他にも、テーブルの配置を変えたり、また例会場に音楽を流すとか、これはあくまでも例えですが、時には気分を変え、ユーモアと刺激のある例会があっても「いいな」と思っております。

この、「武装した護衛官」と言う、いかめしい名前が付いたのも、一種のユーモアかも知れません。

ちょっとしたアイデアでクラブの雰囲気が変わったり、出席率が上がるかも知れません。会場監督はクラブの「縁の下の力持ち」的な存在ではありますが、歴史と由緒ある役職です。

皆さんで知恵を出し合って「秩序正しい」「楽しい例会」にして頂きたいと思っています。勝手な事を言いましたが、今後の会場監督の活躍に期待しております。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

1) 地区大会にて当クラブがロータリー米山記念奨学金寄付4000万円達成で表彰されることになりました。

2) 次週例会は国民の祝日で休会です。お間違えの無いようにお願いします。

❖ 出席報告

守屋 善男 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月15日	46(43)	37	1	88.37%
9月8日	46(43)	38	2	93.02%
9月1日	46(40)	31	1	80.00%

【欠席者】6名

中村 維孝、大野 英明、石崎 孝、大川 裕、上田 博和、木村 啓滋

【今回MU】1名

石崎 孝 (9/15 箱根RC)

【前回MU】増加なし

【前々回MU】1名増加

小嶋 章司 (9/9 小田原北RC)

❖ 委員会報告

ロータリー財団委員会・志澤委員長

地区よりロータリー財団100周年プレコンサートとして、財団楽友によるチャリティーコンサートの案内が来ています。11/3、14時開演、横須賀ベイサイドポケットで、入場料は3,000円です。ご希望の方は事務局までお申し出ください。

❖ ゴルフ同好会コンペの様子

9月27日（日） リバーサカワゴルフクラブにて



❖ Table Flower

- ナデシコ
- スプレーバラ
- オランダセダム
- かすみ草

【花言葉】
ナデシコ：「大胆」「純愛」
スプレーバラ：「温かい心」

オランダセダム：「穏やかな日々」
かすみ草：「清らかな心」



❖ 卓話

「火山災害と観光」



箱根強羅観光協会 専務理事

田村 洋一 様

箱根の情報を発信する場を作っていただき、ありがとうございます。これからプロジェクターを使って、大涌谷周辺の形状や、私の店がある強羅はどのくらいの距離になるのかなど、もう一度箱根の地形を見

ていただきたいと思います。先週金曜、噴火警戒レベルは2に下がりましたが、鬼怒川河川氾濫のトップニュースに押されて箱根の報道は抑えられてしまいました。私も4社ほどTV局の取材を受けましたが、その内の2つは無くなり2局だけの放映でした。今レベル2になって箱根はどう誘客をしていくのか？鬼怒川の災害やその前の東日本大震災、皆さまも色々な場面を見てきたと思います。このような災害による被害を出してはいけないと、強羅では独自の避難マニュアルを5月に作りました。8/26に箱根町がやっと火山災害のマニュアルを出したのですが、どうしても各地域の特色にまで触れていないので強羅では更にまた詰めているところです。今回のような現象は初めてではなく最近では2001年、2007年と起きています。しかし2009年に国が火山に対してレベルというものを導入したことで、箱根は過去と同じような水蒸気噴火だったのですが、クローズアップされて経済的被害を受けてしまいました。大涌谷は汲み上げた井戸水をポンプで上げ、溜めた水を水蒸気に当てて温泉を作って下へ流しています。井戸は数個あり、強羅や仙石へ分かれていきます。今回、仙石へいく井戸のうち1つが壊れて数軒温泉が止まっている状況です。被害としては、建物への噴石などは一切なく、狭い範囲で収まっています。6/30の噴火もちょっと地震が多いなという程度で、箱根の住民は誰も分かりませんでした。翌朝、気象庁から「噴火ではなく小規模な水蒸気の噴出があった」と発表されました。しかし翌日昼に「噴火だった」と訂正されます。大涌谷から仙石までは約4kmです。阿蘇山は大規模な噴火をして4kmまで避難区域に指定されたので、箱根も大規模な噴火になると仙石エリアまで避難勧告が出ると思います。強羅が3kmくらいです。今回レベル2に下がりましたが、レベル4「噴火の可能性が出た」となると強羅公園の上まで多分避難エリアとなるでしょう。ですから強羅は箱根町より先にマニュアルを作っていたのです。箱根の火山活動は24時間体制で神奈川県温泉地学研究所が観測しています。1959年から群発地震測定のためデータ取りが始まり、1961年には温泉地学研究所が入生田に作られました。私が小学生の頃は『箱根山は富士山級の大きい山で1つの火山だった。それが何回か噴火して陥没して外輪山を作った』という説がありましたが、最近では『箱根は火山の集合体』説が有力になりました。4万年前に山体崩壊を起こし湖が埋まって仙石原が生まれたと言われていています。ですから火口は仙石を向っていますが、温泉場は4km離れているので安心です。そういったことをマスコミにも伝えたのですが、うまく報道に伝わらず、危ないというイメージばかりになってしまったのが残念です。

箱根山はかなり年寄りの火山で、大涌谷にはマグマ噴火で山体崩壊を起こすようなパワーはもう無いそうです。今後も水蒸気噴火を繰り返しながら、数万年後にはただの山になるだろうということです。

温泉地学研究所が測定している箇所と内容は、気温・水温・地温、地下水水位、傾斜、震度はもちろん、光測定で山の動き、GPSで山の隆起などを全部監視しています。今回、何を基準にレベルを下げるかという、地震はほとんど気にしていません。重要なのはGPSと光測定による、水蒸気での山の隆起・火山性ガス・噴火威力の3つのようなのです。震度5だった、2千回地震があった、と誇張されていましたが、あまり噴火に対して気にすべきデータではなかったようです。箱根町の人口は13,500人、観光客数は2,000万人、日帰りが1,600万で宿泊が400万人です。現在火口周辺構内で530m×440mがレベル2で立ち入り禁止エリアとなっています。本日よりそれがさらに狭まって、150mまでは安全対策を施して温泉のメンテナンスに入っていることになりました。これで毎日温泉のメンテナンスができ、温泉が止まるという心配は無くなりました。2kmラインはレベル4にあがった時の範囲です。3～4kmとなりますと噴火が起こってレベル5になったエリアになります。レベル3の時、強羅のスケートリンク近くに住んでいる戸数は32戸で35人が住んでいました。避難者数は従業員なども含めて54名ということですが、実際に強羅観光協会が把握しているのは20名弱です。

5月GW明けから8月中旬まで色々な面で経済的被害を受けました。お祭りができないんじゃないか？避難エリアの方の雇用をどうしようか？などの心配に対して、国会議員の方々が動いてくれてセーフティネット4号の適用と雇用保険適用の措置を発令してくれて何とか凌ぎました。夏祭りは神奈川県が600万円の費用を負担してくれて開催することができました。今も気象庁や国土交通省からの専門家が常駐してくれて山の監視を行っています。視察団が来たり勉強会を開いたりもしました。強羅は5月中旬に避難マニュアルを作ってメンバーを集め、6月にはかなり煮詰まった内容で発表しています。3階以上のRC構造の建物ならシェルター代わりにすると聞き、そういった建物をピックアップして突発的噴火の場合は貸して欲しいと契約をしました。防災倉庫の場所も記してあります。これを全戸に配布して、お客様にも希望があれば渡しています。このマニュアルはレベルを無視したものです。想定外を排除したあらゆる事態に対処していける内容にしよう、とにかく命が最優先である、この2つを重点として作りました。大文字焼きを今年行うかどうか議論を重ねながら開催を決定しましたが、それもやはり情報があってできることです。



また7～8年後に火山活動は盛んになると思います。そこに向かって取り組まなければいけないのは、噴火被害ゼロを目指すことと、全国の温泉場とネットワークを結んで共済作りを進めていくこと。どうかご協力をお願いいたします。